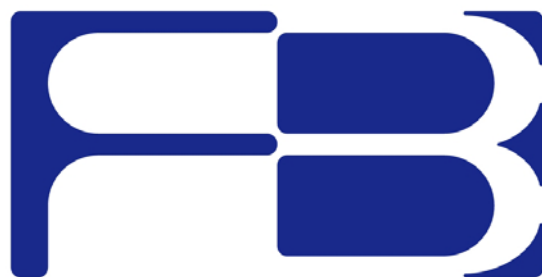


# フリービット株式会社 2008年4月期第1四半期 決算説明会

2007/9/7



The Internet xEngine.

## <将来予測に関する注意事項>

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信のうち、歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する予測です。

この将来予測は当社が現時点で入手できる情報に基づいて作成したものであり、  
種々の要因により、将来の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

そのため、これらの将来予測に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

## 1. 2008年4月期第1四半期業績

## 2. 通期連結業績見通し

## 3. DTIに関して

## 4. その他

# フリービットのビジネス



## 会社概要

会社名	フリービット株式会社
企業理念	“Being The NET Frontier !” インターネットを広げ社会に貢献する
設立年月日	2000年5月1日(4月決算)
本社所在地	東京都渋谷区円山町3-6 Eスペースタワー13F
主な事業所	東京都渋谷区、大手町データセンター、 南砂町データセンター、中国江蘇省無錫市SiLK-NOC
資本金	16億6,332万円
スタッフ数	85名(2007年4月1日現在)
役員	代表取締役社長CEO 石田宏樹 代表取締役副社長CFO 田中申明 取締役 出井伸之

フリービットが目指す世界

# Web to SiLK

クモの巣からきめ細かく滑らかなインターネットへ

FBは、PCとブラウザに縛られた  
窮屈な世界から、最先端のOverLay 技術  
によってインターネットを開放する

Being The NET Frontier! という理念を、  
SiLKのようなネットワークの構築で具体的に  
実現することがフリービット全社員の使命



**特許技術**  
取得済6件(出願中15件)

IPv4空間でIPv6を動作させる等

**コアコンポーネントAPI**  
(特許をコア部品化)

**ビジネスモデル**  
(パートナーと最終商材へ)

	+	ネットワーク	データセンター	サポート	ビルディング		日本最大規模のISP's ISPサービス
	+	ネットワーク	データセンター	サポート	ビルディング		世界最大規模のIPv6-Centrexサービス
	+	ネットワーク	データセンター	サポート			SONY製HDDレコーダー
	+	ネットワーク	データセンター	サポート			楽天メッセンジャー
							楽天版"Skype"

**インターネットビジネス支援事業**



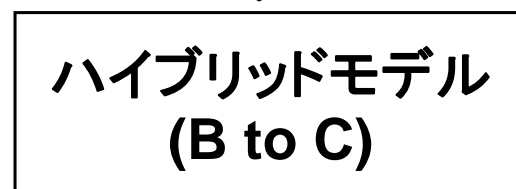
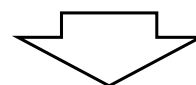
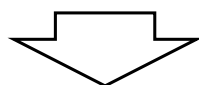
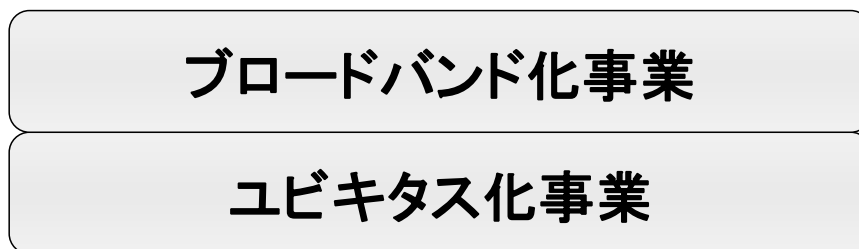
**ブロードバンド化 事業**

日本トップシェア(社数)のISP's ISP 事業

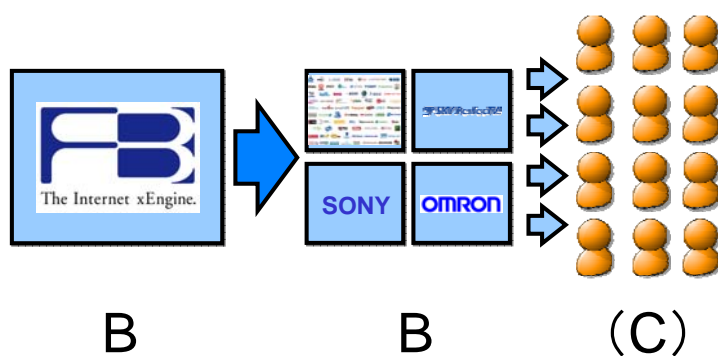
**ユビキタス化 事業**

世界中で動作し、ブラウザに依存しないユビキタスサービス





## スペシャリストモデル[B to B]

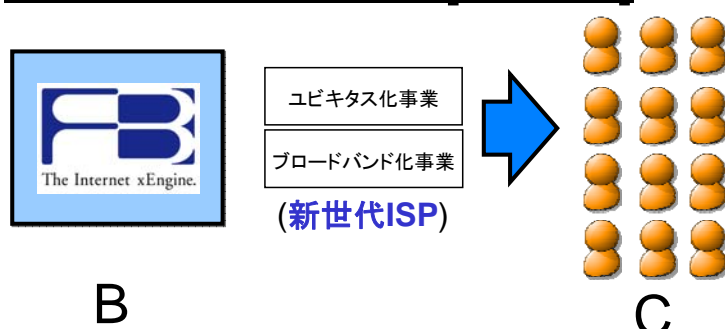


- [メリット]
- ・Bによる規模拡大が望める
- [デメリット]
- ・成長、市場がコントロールできない
  - ・Bを経由した市場把握となる

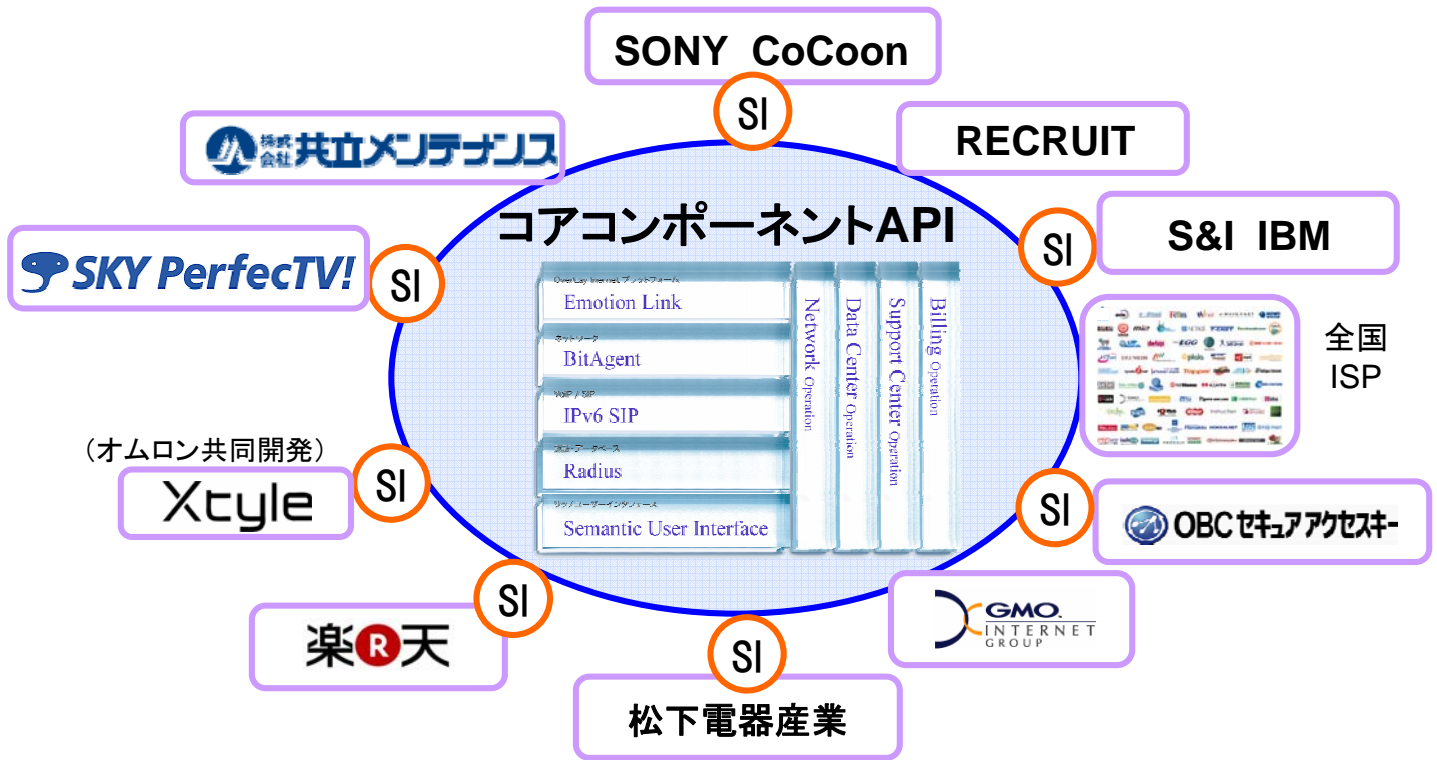
売上の**87.9%\***を継続課金が占める。

※2007/1 までの実績値ベース

## ハイブリッドモデル[B to C]



- [メリット]
- ・自らリスクを負って、新しい商品を市場投入できる。
  - ・Control Own Destiny
- [デメリット]
- ・ブランド力
  - ・リスクの拡大



**200を超えるプロのIT企業がサービスを利用**

**2008年4月期第1四半期業績**

# 2008年4月期第1四半期での進捗

**2007年6月5日、29日**

■ Ad SiPスタート、インターネットスペース、ぐるなびで採用



**2007年7月4日**

■ 指紋認証付きMyVPN USBノード 日本HPでの採用!!

## MyVPN



**2007年7月31日**

■ IPビジネスホン 共立メンテナンス社・  
オーティーコムネット社との長期契約締結  
→ ASPモデルへのシフト

**OFFICE ONE**  
IPビジネスホン



ユビキタス化事業 4つの成長領域

1. メッセージング  
事業の成長

3. 通話報酬型  
広告事業の  
立ち上げ

2. VPN市場の  
成長

4. モノ・コントロー  
ル市場への参  
入

# 2008年4月期第1四半期業績ハイライト1【総括】

単位: 百万円

	2008年4月期 第1四半期実績	2008年4月期 中間予測※	進捗率
売上高	1,322	2,300	57%
営業利益	67	80	83%
経常利益	65	△50	—
純利益	57	△50	—

※DTI買収に伴う資金調達手数料を上期に一括計上することにより、  
2008年4月期の中間予測の修正を実施(本日発表)。

### ■ブロードバンド化事業

- 光ファイバー接続サービスが前期に引き続き堅調に推移。
- SiLK VISION 2010のハイブリッド戦略に基づき、livedoor接続サービスの買収を完了（6/13に契約締結→8/1に吸収分割）。

### ■ユビキタス化事業

- IPビジネスホンの取引先である共立メンテナンス社・オーティエコムネット社と長期契約を締結。
- MyVPN USBノードの営業を開始。ThinClient用途としてHPへ導入が決定。
- AdSiPの提携が拡大し、ぐるなび社、インタースペース社へのサービス提供開始。

### ■その他

- 7/27よりDTIのTOBを開始（8/23に終了→連結子会社化）。

DTIへのTOBを含め、第1四半期の各取り組みは、各事業における下期～来期の成長に向けたサービスの積み上げを行ったフェーズである。

### ■ブロードバンド化事業

- BitAgent（帯域制御システム）は引き続き順調。  
FTTHの増加トラフィックを効果的に処理している。

### ■ユビキタス化事業

- 共立メンテナンスとの長期契約切り替えに伴い機器販売の仕入が発生。
- 通信設備工事に関する長期前払い費用を除却し特別損失が発生。

### ■その他

- オフィス拡張に伴う地代家賃が増加

共立メンテナンス関連の一時要因とオフィス拡張以外は、概ね計画通り推移。  
オフィス拡張については、DTIの連結子会社化で既にフル稼働が確定。



# 2008年4月期第1四半期業績報告



## PLの状況

単位:百万円

	2007年 4月期 実績	2008年4月期 第1四半期 実績	ポイント
売上高	4,384	1,322	ブロードバンド化事業は光ファイバー 接続が純増。 ユビキタス化事業はIPビジネスホン の設備売却により売上増加
ブロードバンド化事業	2,947	710	
ユビキタス化事業	1,437	612	
売上原価	3,200	1,022	IP電話関連機器の売上に伴う仕入れの 発生(一時的要因)
販売費及び一般管理費	963	232	オフィス増床によるコスト増はあるもの の全体的にはコスト抑制傾向
営業利益	220	67	
経常利益	180	65	
当期純利益	233	57	

Confidential

Copyright 2007 FreeBit Co.,Ltd. All Rights Reserved.

16

# 2008年4月期第1四半期業績報告



## BSの状況

単位:百万円

	2007年 4月期 実績	2008年4月期 第1四半期 実績	ポイント
資産合計	2,696	3,074	共立メンテナンス向け工事関連長 期前払費用を除却
負債合計	940	1,262	買掛金の増加、短期借入金の増加
純資産合計	1,755	1,812	

## CFの状況

営業キャッシュ・フロー	234	6	
投資キャッシュ・フロー	△ 37	△22	
財務キャッシュ・フロー	254	120	長期借入金の返済と短期借入金の 増加の差額
現金及び現金同等物の 期末残高	1,340	1,444	

Confidential

Copyright 2007 FreeBit Co.,Ltd. All Rights Reserved.

17

## 1. 2008年4月期第1四半期業績

## 2. 通期連結業績見通し

## 3. DTIに関して

## 4. その他

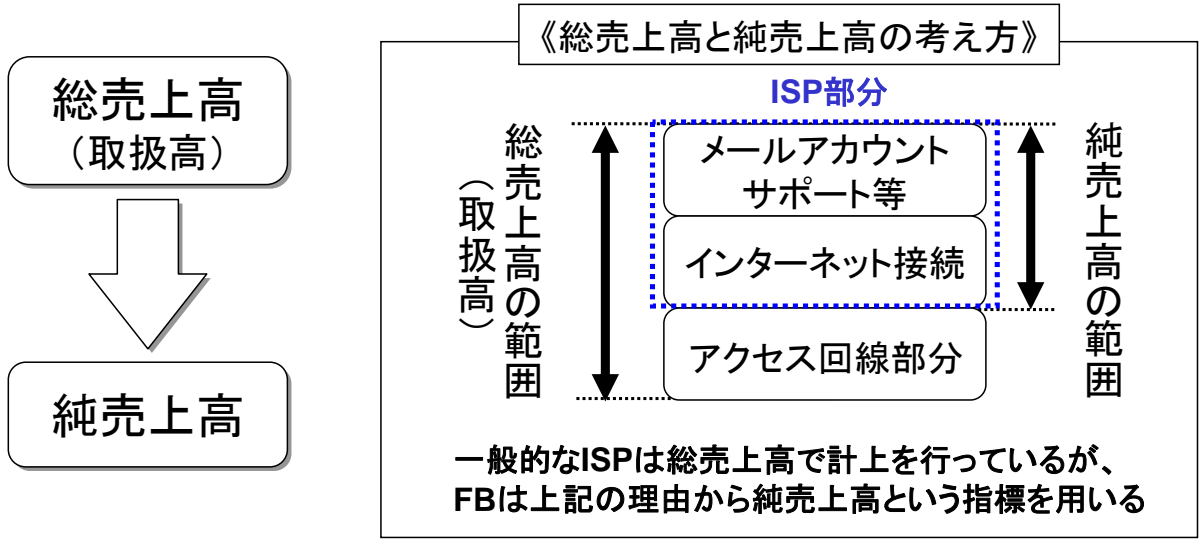
2007年9月3日にDTIが当社の子会社へ異動になり、下期(2007年11月)よりDTIの売上等を組み入れた連結決算を開始します。

上記により、大幅な業績修正となりますので、通期連結見通し修正に関してご説明いたします。

# DTIの売上計上基準の変更について

- 目的: 純粋な企業の事業活動を売上、利益へダイレクトに反映することで、より透明性の高い開示とするため。

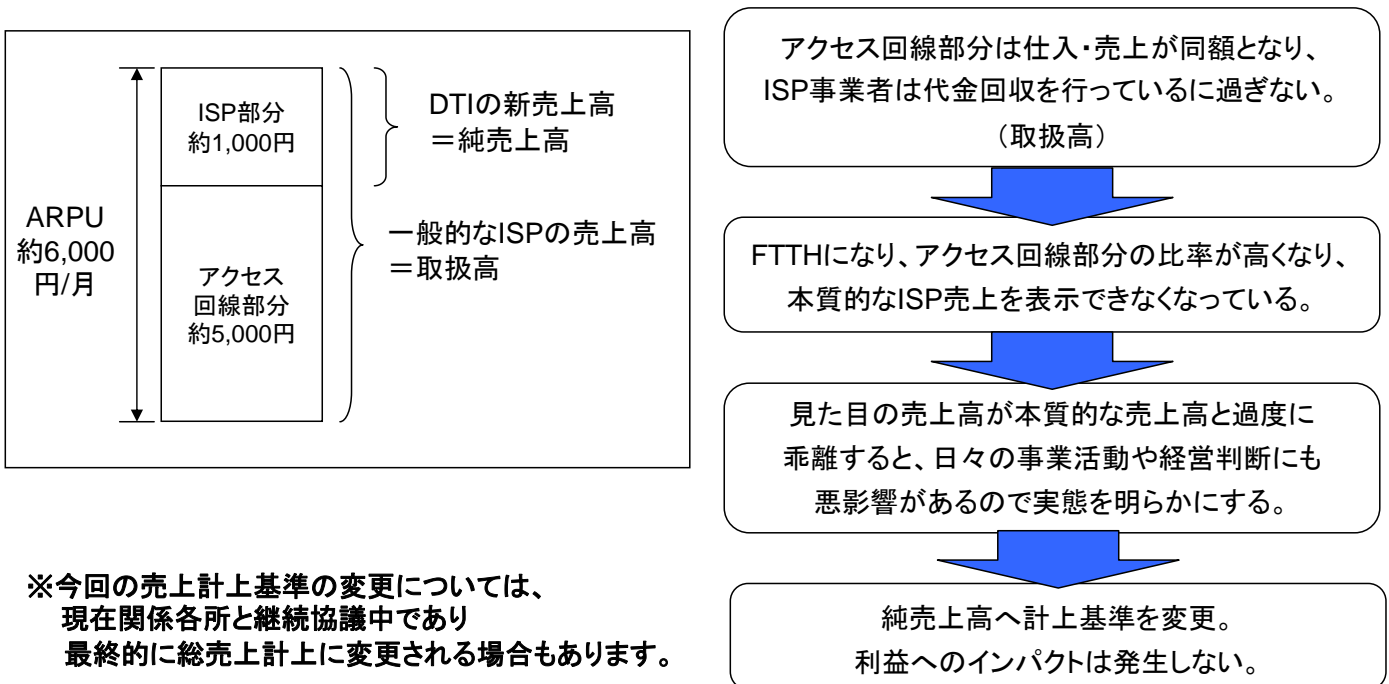
通期連結業績見通しにおいて以下のように変更



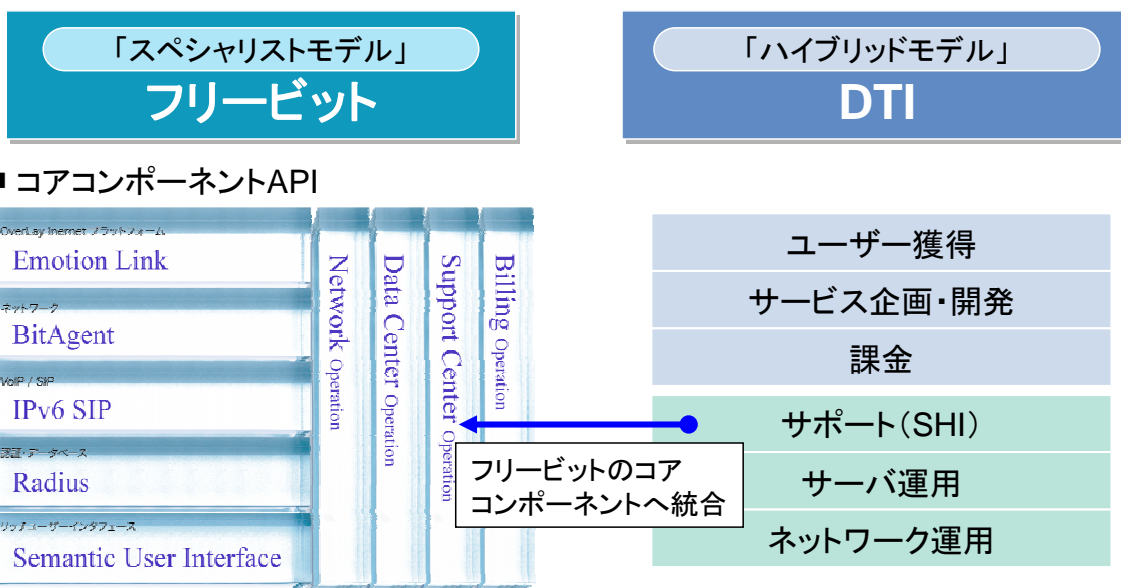
今後は参考情報として、従来の売上高を「取扱高」として表示  
 ※利益への影響は発生しない。

# 売上計上基準変更の考え方

- 標準的なホールセール型FTTHサービスの売上構成イメージ



2007年10月5日に、DTIの100%子会社であり、主にDTIコールセンターを請け負う株式会社スーパーホットラインズ(以下SHI)の事業をFBが譲り受けます。



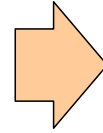
## 通期連結業績見通し

単位: 百万円

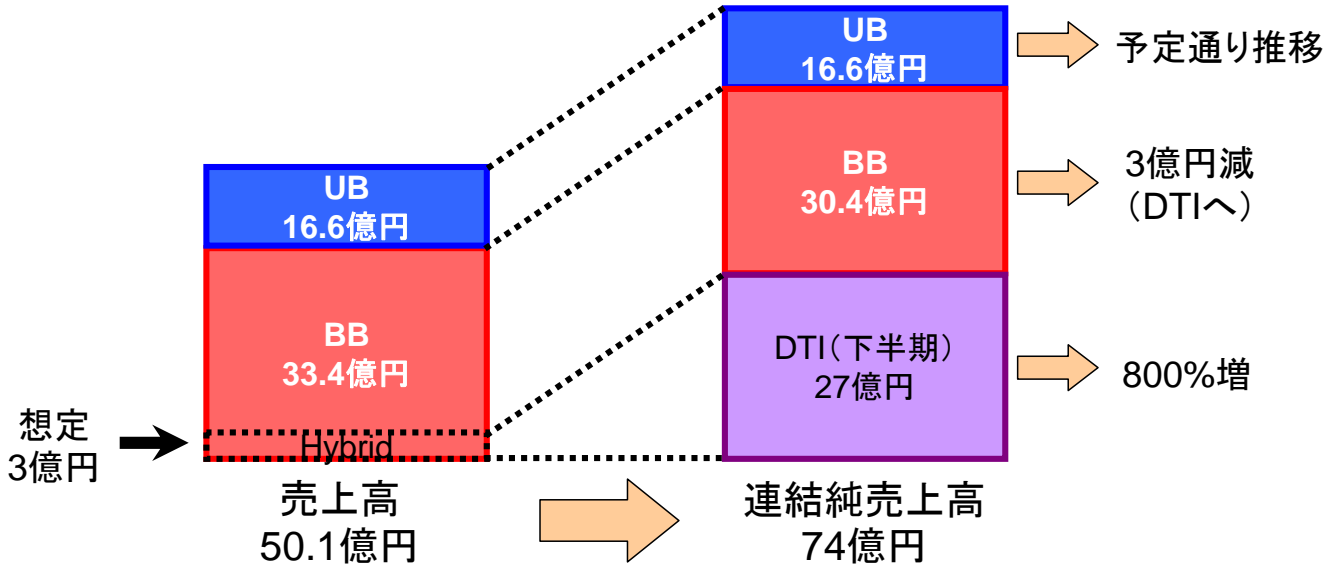
	2007年 4月期 単体実績	2008年 4月期 連結予想	前期比 (参考)	トピック
純売上高	4,384	7,400	168%	・DTI半期連結のみであるが大幅に増収。
取扱高	—	11,700	—	
EBITDA	—	860	—	
営業利益	220	450	204%	・DTIの下期利益が加算 ・DTIは構造改革中であり本格的利益寄与は来期以降。 ・のれん代が発生。
経常利益	180	300	166%	・買収に伴う一時費用が発生。 ・買収資金の借入金・利息が発生。
純利益	233	270	115%	・DTIの事務所移転に伴う除却費用等が発生。

# 売上業績見通し(FB単体→DTI連結)に関して

- ・ブロードバンド化事業で見込んだHybrid売上げ(ISP事業の買収)がDTI子会社化で大型化して実現。
- ・ユビキタス化事業は当初の予定通りで推移。

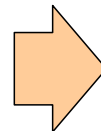


DTI連結により  
売上高は74億円へ。

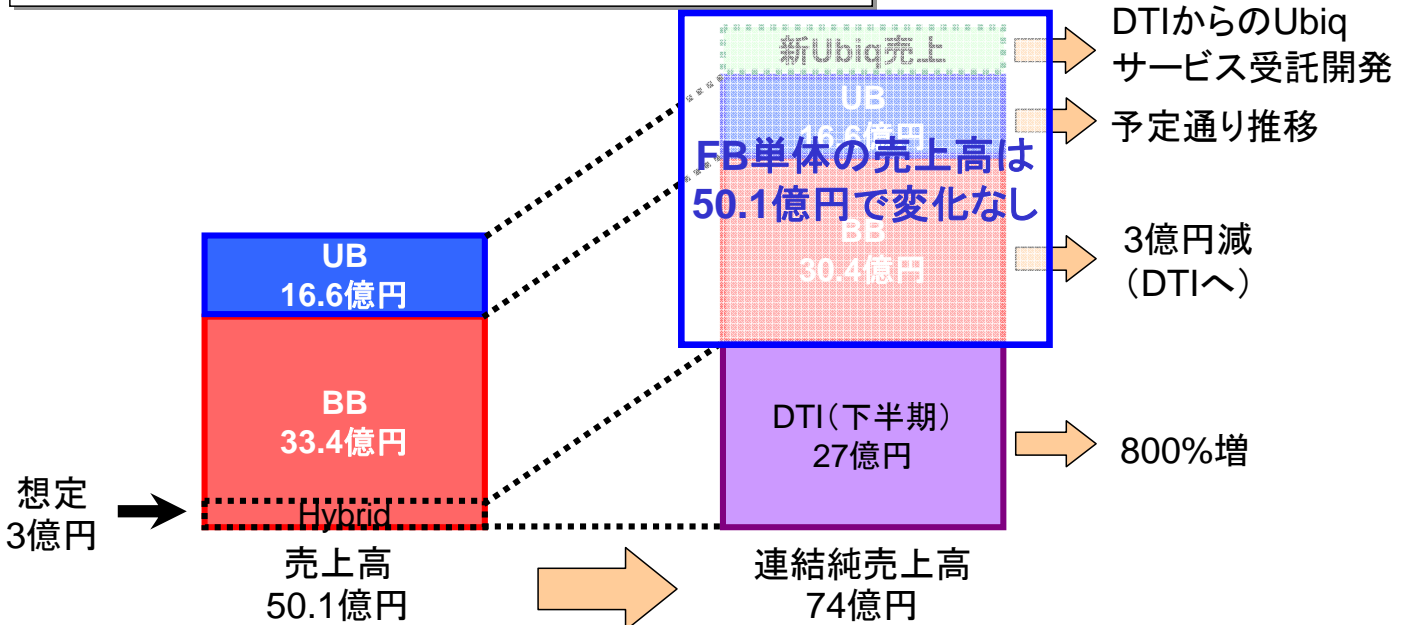


# 売上業績見通し(FB単体)に関して

- ・ブロードバンド化事業で見込んだISP事業の買収はDTI子会社化により減額。
- ・ユビキタス化事業は当初の予定通りで推移。
- ・新たにDTIとの取引により新UB売上が計上予定。(SIのため利益率は低下)



FB単体での  
売上高は変化なし。



# 通期単体業績見通し



単位: 百万円

	2007年4月期 単体 実績	2008年4月期 単体予想 修正前	2008年4月期 単体予想 修正後	前期比 (参考)	トピック
売上高	4,384	5,010	5,010	114%	
営業利益	220	420	250	113%	・当初予定のISP買収をDTIの子会社化としたため
経常利益	180	380	100	55%	・DTI買収に伴う資金調達手数料と借入金利息を計上
純利益	233	375	90	38%	

上記の理由により、単体の通期業績の見通し修正を実施。

Confidential

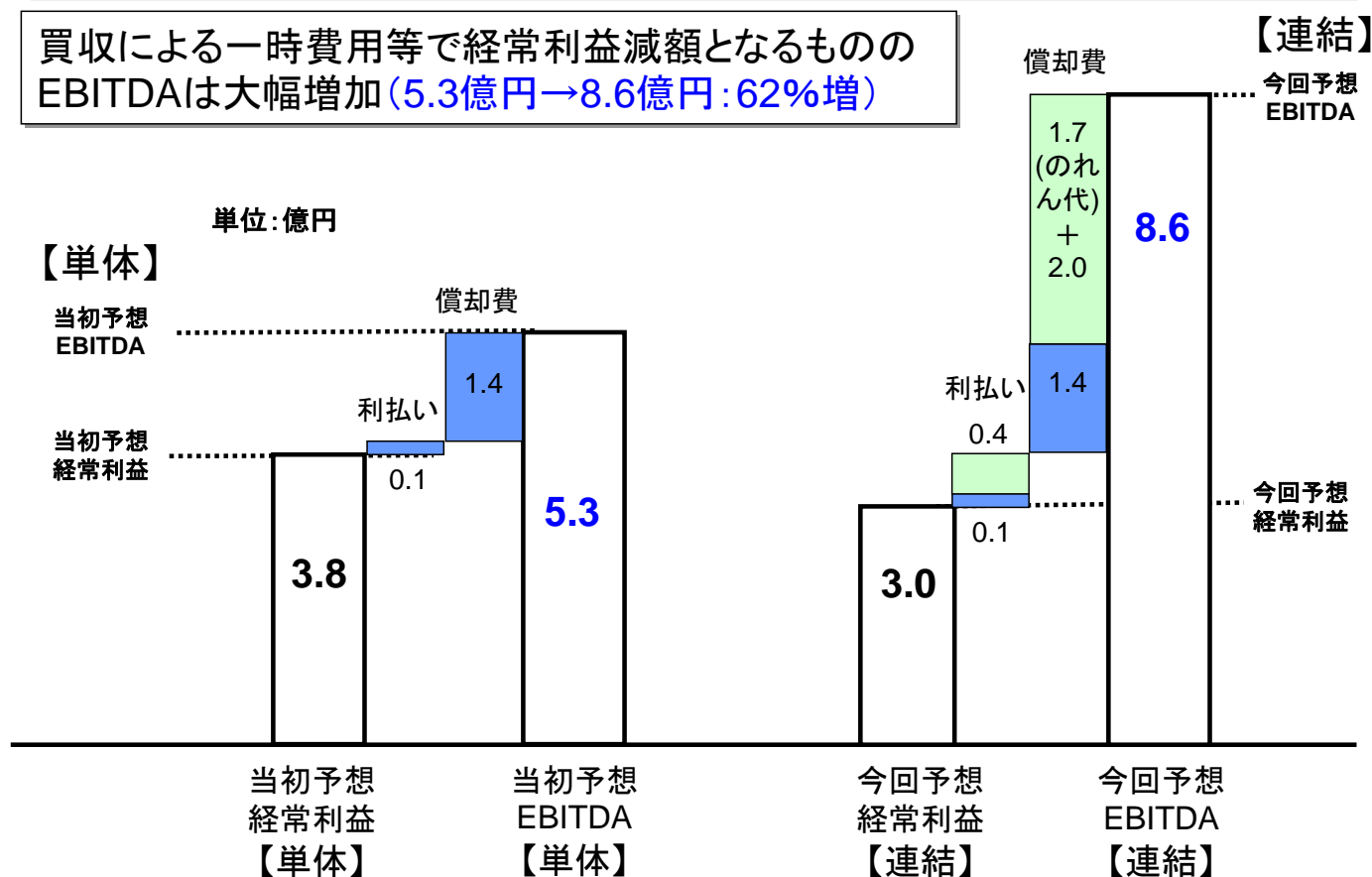
Copyright 2007 FreeBit Co.,Ltd. All Rights Reserved.

26

## 経常利益とEBITDAに関して



買収による一時費用等で経常利益減額となるもののEBITDAは大幅増加 (5.3億円→8.6億円: 62%増)



Confidential

Copyright 2007 FreeBit Co.,Ltd. All Rights Reserved.

※下期よりDTIの連結を開始

## ■売上高について

- DTIの下期売上高が加算されるため、連結売上げ**74億円**と昨年比**168%**の大幅な増収が予想される。(透明性を高めるためにNET計上するため、単純合算よりは限定的)
- FB単体に関しては、ハイブリッド売上を連結計上する為にマイナスになるが、DTIからユビキタス化サービスの開発受託を受けるために概ね計画通りに推移。将来戦略から、DTIユビキタス化サービス開発に優先してリソースを割り当てる。

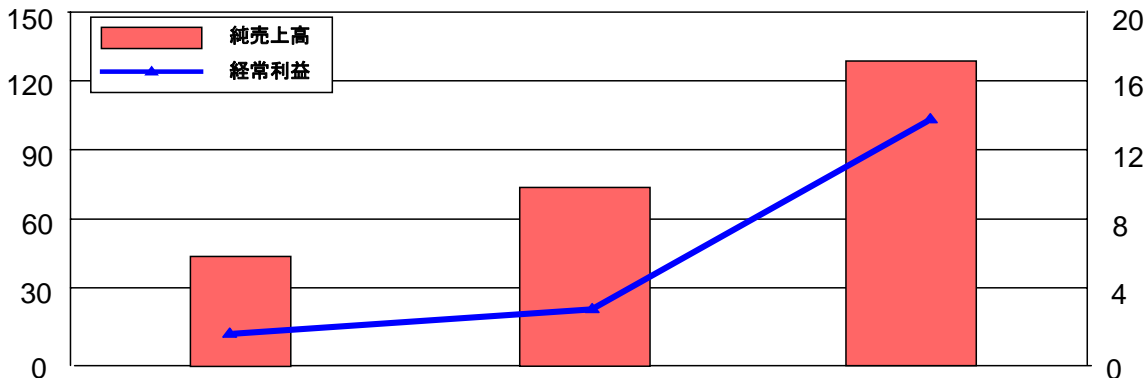
## ■利益・費用面について

- DTIの下期利益が加算されるため連結では営業利益の増加が予想される。構造改革費用、のれん代などを加味しても、**4.5億円**となり昨年比**204%**の大幅増益。(DTIは構造改革を開始したばかりであり、成果が寄与するのは来期以降となる)
- [一時費用]営業費用に早期に事務所移転(DTI)を行うための地代家賃の二重費用が発生(0.8億円)
- [10年間]営業費用にDTI取得に関わるのれん代が発生(1.7億円)。
- [一時費用]営業外費用にDTI買収等に関わる資金調達関連費用が発生(1.2億円)。
- [5年間]営業外費用に買収資金借入金の支払利息が発生(0.4億円)。
- [一時費用]特別損失に事務所移転(DTI)に伴う原状回復費用等が発生(0.3億円)。

# 今期・来期の売上/利益イメージ

売上高: 億円

経常利益: 億円



	2007年4月期実績	2008年4月期予想	2009年4月期目標
純売上高	43.8	74	110~130
EBITDA	—	8.6	17~23
営業利益	2.2	4.5	12~18 ※1
経常利益	1.8	3	11~17 ※2
純利益	2.3	2.7	11~17

※1 のれん代償却後

※2 利払い後

※上記に記載した数値は、前年度実績等を参考にDTIをフル連結した場合の業績を簡易に計算したもので、正式に業績予想として開示していません。このため今後発表する業績予想や実際の業績等は、上記数値と異なる場合があります。

1. 2008年4月期第1四半期業績
2. 通期連結業績見通し
3. DTIに関して
4. その他

DTI買収に関してのご説明



## 1. DTIの経営に関して

## 2. 買収価格の妥当性について

## 3. 今後のISP統合戦略との関連

# フリービット経営陣のトラックレコード

1993 **慶応大学総合政策学部(SFC)入学(石田)**  
村井教授の元でインターネットテクノロジーの研究と、普及活動に従事

1995 田中、石田等グループで有限会社リセットを設立  
＜日本初のネットワーク投稿雑誌(ログ本)「ReSET」を毎日新聞社より発行＞

三菱電機関連会社部より依頼を受け、DTI設立に参加。  
→業務委託契約  
田中が経営全般、石田が技術、企画、サポートを担当。  
(三菱電機より出向者 3名 / リセットより3名でスタート)

1996 DTIサービス開始。(法人用専用線より順次開始)  
田中、取締役就任。  
＜日本初の全日制的インターネット放送を木村太郎氏と開始＞

1997 DTI黒字化実現  
石田、広告・広報分野も担当する。

1998 石田大学卒業。100%DTI活動に従事。事業推進副本部長就任。  
石田、法人営業部門も担当する。  
顧客満足度No1獲得＝徹底したCI戦略をとる。

1999 田中、COO就任。石田、CSO(最高戦略責任者)就任。

2000 3月NASDAQ-J上場準備が整ったことを確認して石田がDTIから離れる  
5月フリービット・ドットコム株式会社設立

SFCを中心にインターネットの普及活動に従事

↓  
インターネット普及の為に初のネットワーク投稿雑誌を毎日新聞社より発行

↓  
“本当にいいプロバイダ”づくりを目指して、DTI設立に参加。

↓  
経営全般、企画・技術・広報・サポート全分野を二人で担当。顧客満足度で有名となる。(石田は全サポートメールに目を通す:通算約20万通)

↓  
DTIが親会社のインターネット主力戦略に組み込まれる。子会社化 & 上場を機に、「立ち上げ」を完了し、DTIを離れる。

↓  
更なるインターネット普及の為に株式会社フリービット・ドットコムを設立。DTI NASDAQ-J上場。

## 1. DTIの経営に関して

## 2. 買収価格の妥当性について

## 3. 今後のISP統合戦略との関連

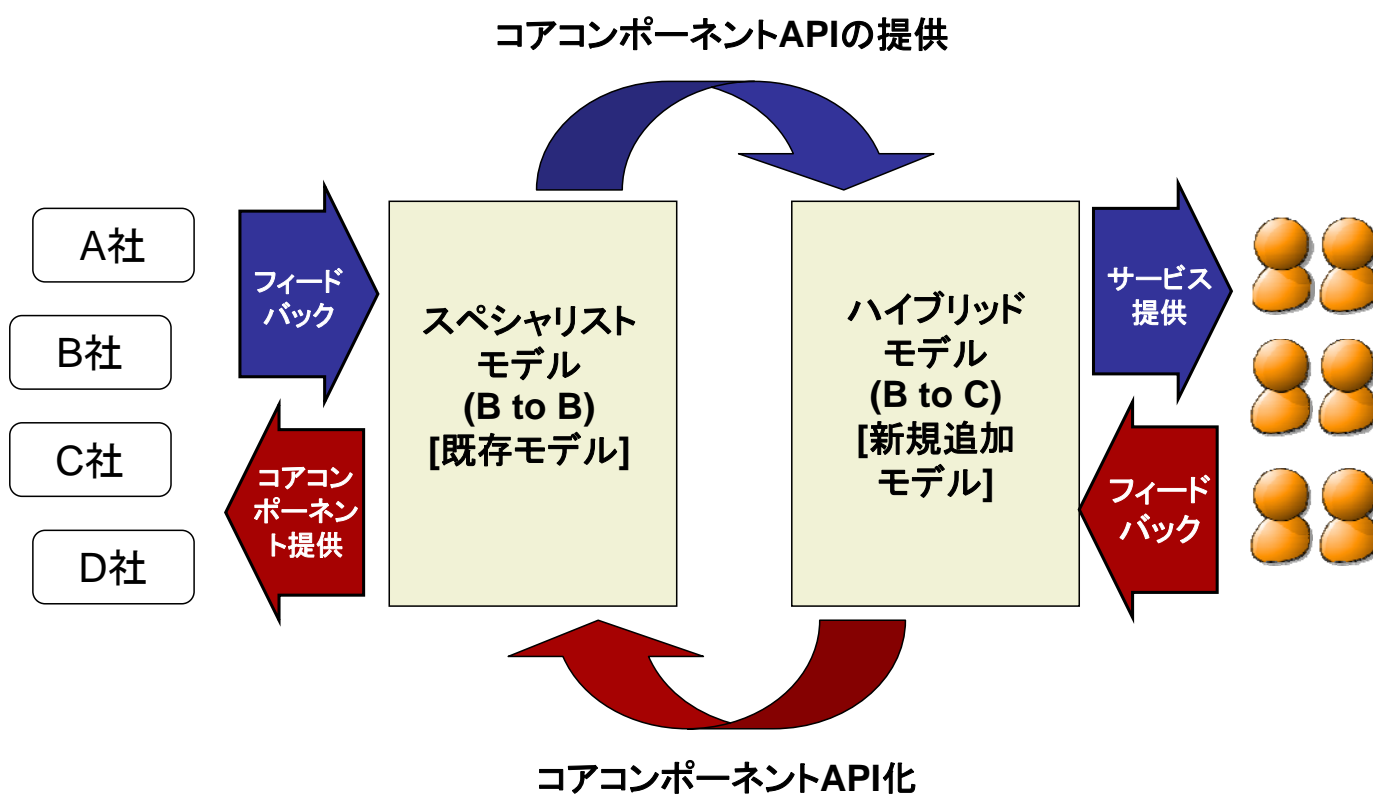
## 2. 買収価格の妥当性について

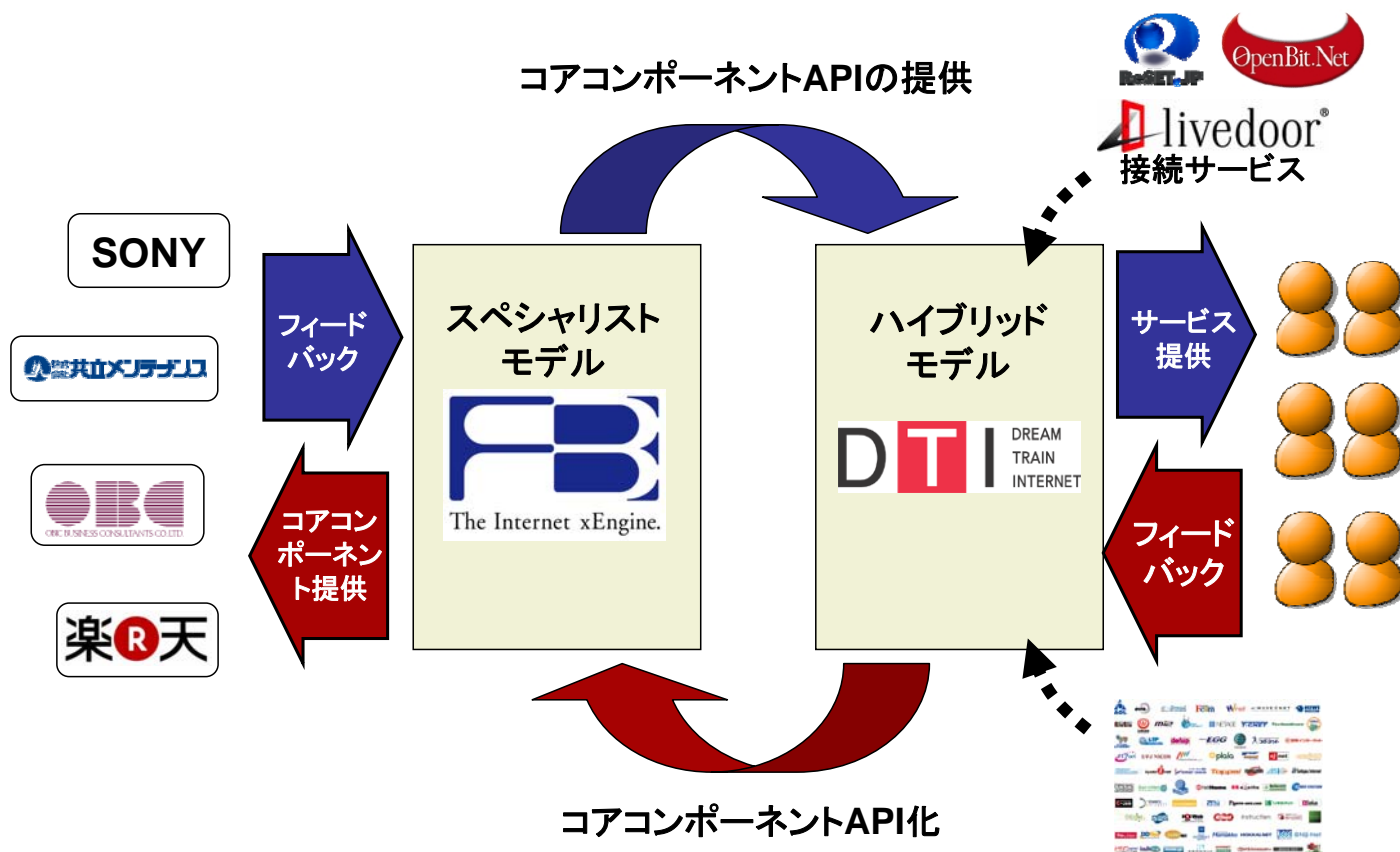
項番	考え方	特徴
1	EV/EBITDAに関して	EV/EBITDAが5~6倍である。
2	繰越欠損金に伴うメリットに関して	最長2013年まで税務メリットが享受でき、約16億円分となる。
3	資金繰りに関して	短期間で債権を資金化できるスキームが構築されており運転資金が不要である。
4	シナジー効果によるコスト削減に関して	FBのISP's ISP事業とのインフラ統合により、大幅なコスト削減が見込める。
5	買収資金に関して	事業計画の信頼性が評価され、ほぼ全額借入金で確保できたため資本コストが掛からなかった。
6	のれん代に関して	のれん代は30~40億円と見込んでいるが、償却期間を鑑み、各年度の営業利益で償却可能と見込んでいる。
7	ユーザ獲得単価に関して	新規のユーザ獲得単価は、約25,000円~30,000円であるが、今回の買収によるユーザ獲得単価は15,000円未満であり割安である。

上記理由により、今回の買収価格に関しては妥当であると考えられる。

1. DTIの経営に関して
2. 買収価格の妥当性について
3. 今後のISP統合戦略との関連

## スペシャリストモデル・ハイブリッドモデルの関係





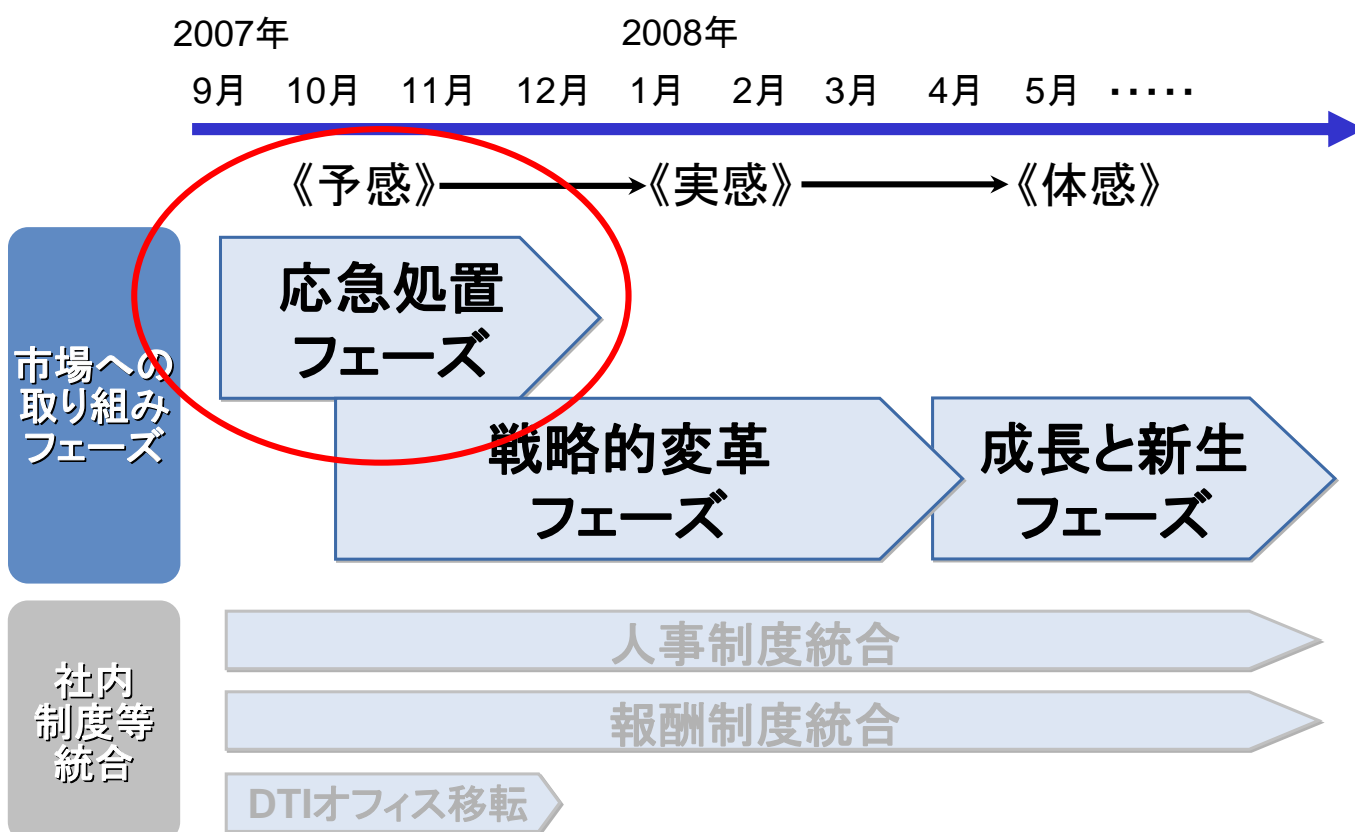
## 8月23日のTOB終了をもって、 FBとDTIのシナジープロジェクト

# “Phoenix One Project”

## を開始。

# シナジー戦略のロードマップ概要 Phoenix One Project

## Phoenix One Projectのロードマップ



# STEP1.応急処置フェーズ

緊急度の高い施策の優先的実行

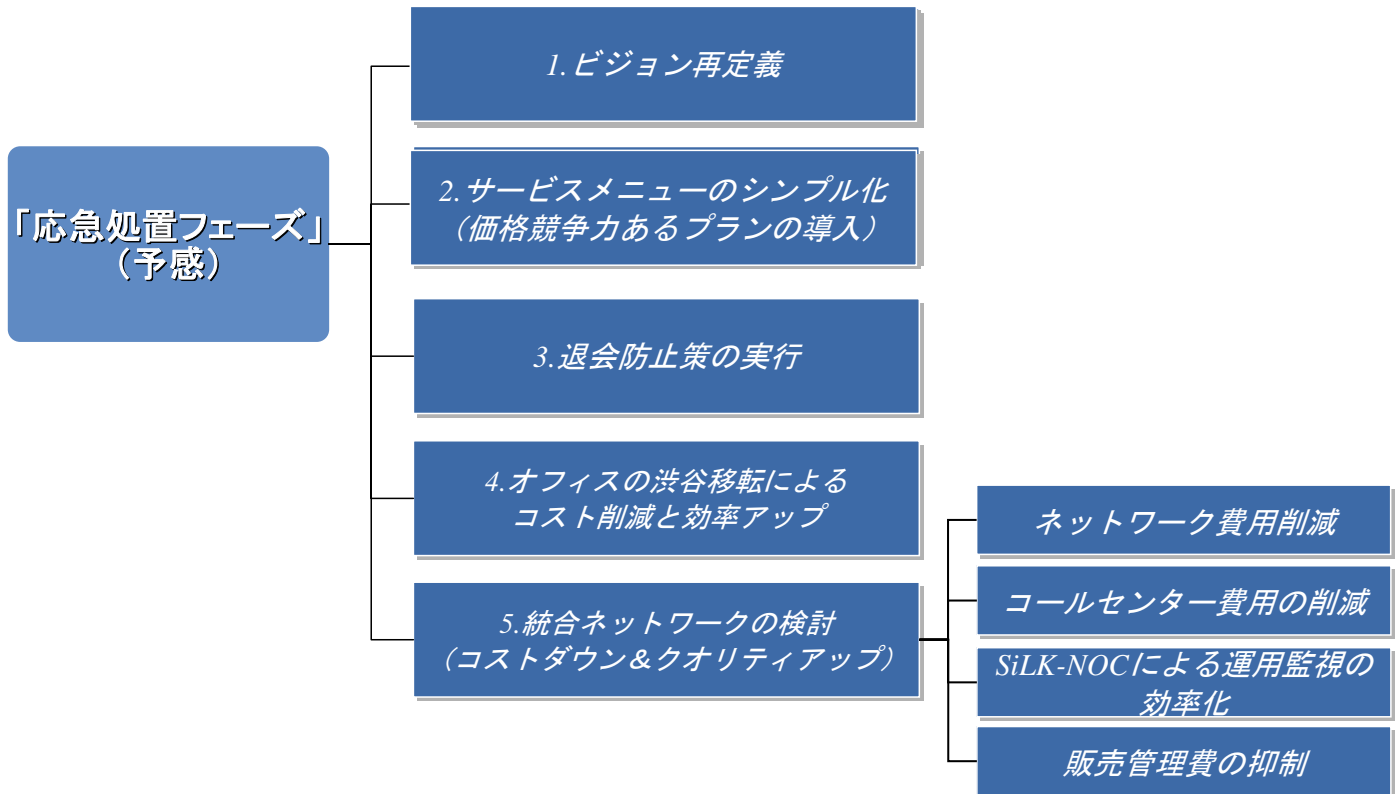
「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



## ■ 応急処置フェーズにおける打ち手



Confidential

42

# STEP1.応急処置フェーズ

ビジョン再定義・市場への浸透

「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



“DTI is The **Ubiquitous HUB**”  
～ DTIはユビキタスなHUBになる ～

Digital HUBをさらにネットワーク上に広げる  
**ユビキタスなHUB**として、ISPを再定義する

Confidential

43

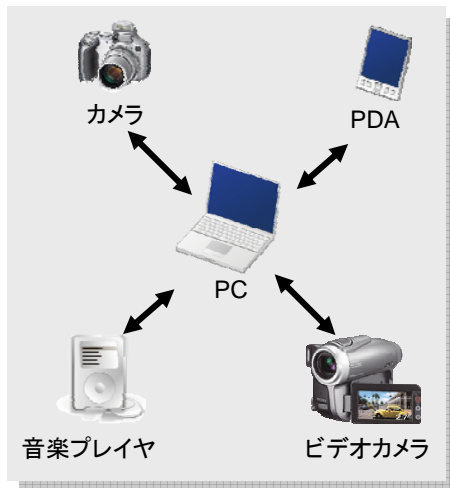
# STEP1.応急処置フェーズ

ビジョン再定義・市場への浸透

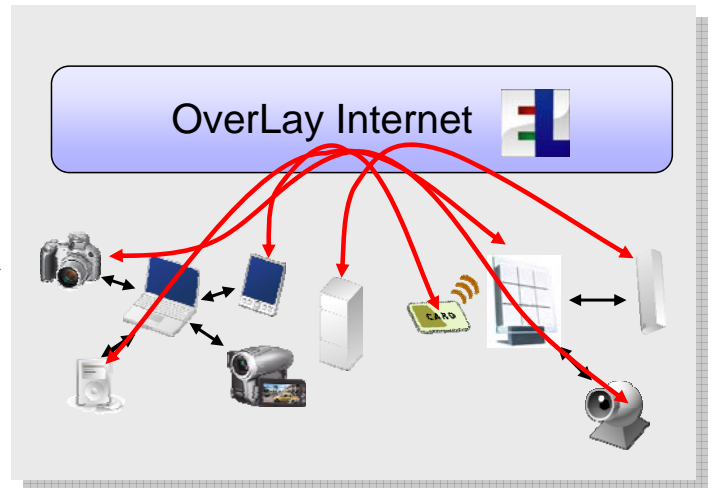
「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



Rip  
Edit  
Export  
Big Display  
Storage



Digital HUB

ユビキタス HUB  
(新世代ISP)

2001年 Steve Jobsによる定義

Digital HUBをOverLayer Internetに  
よってネットワーク空間に拡張

# STEP1.応急処置フェーズ

ビジョン再定義・市場への浸透

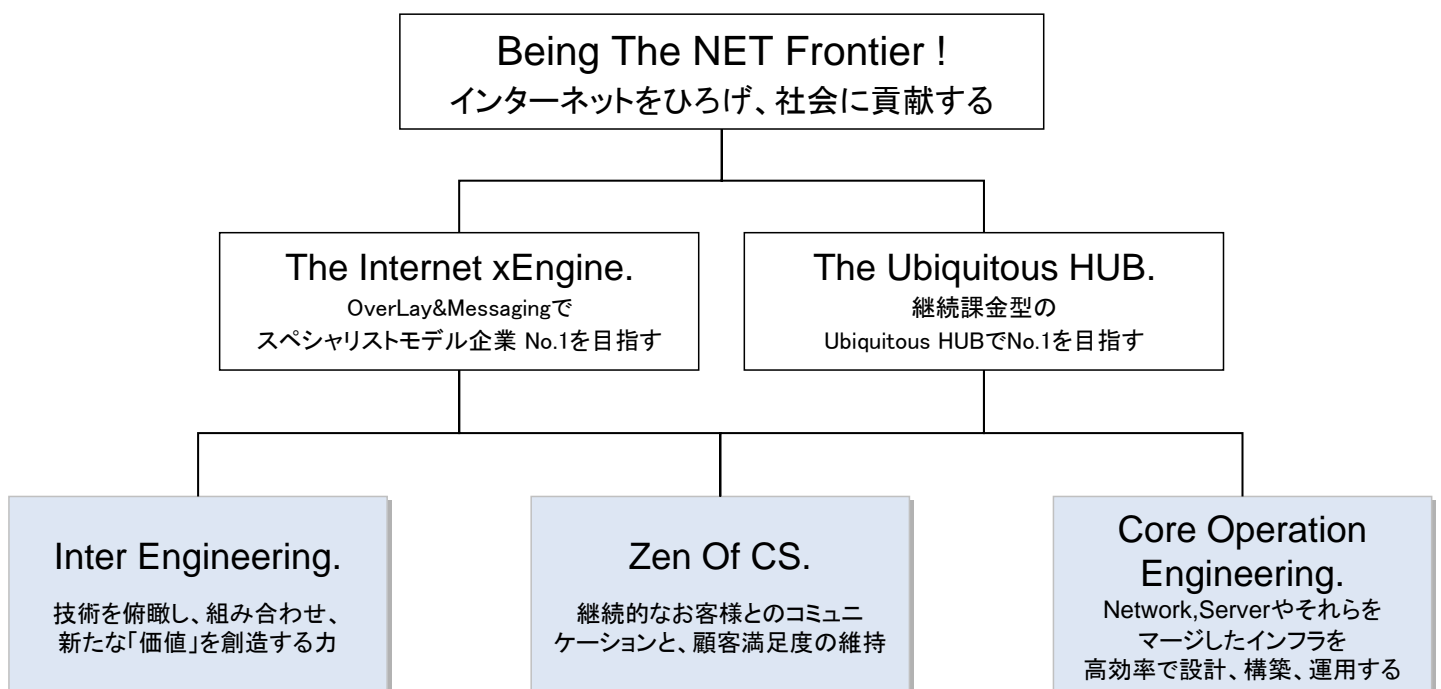
「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



## グループ理念及び行動指針 (FB&DTI)



# STEP1.応急処置フェーズ

「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感

ビジョンから社員の行動・意識の変革を行う。

ビジョン設定(価値観の統一)

DTI is The Ubiquitous HUB

FBグループとしての新生DTIの現状分析

DTI既存の強み

- ・40万顧客契約
- ・ブランド
- ・人材

+

FBによる追加リソース

- OverLay Internet 技術、実績
- 家電/機器への組込技術、実績
- 「既存の強み」を補完するノウハウ
- 他IT企業との強いコネクション

中期経営計画設定(SiLK VISION 2010)

年度計画予算設定(純売上高の方針導入)

個人目標設定(評価・報酬制度とリンク)

ビジョンと個人の目標を確実にリンクさせることが大切!

Confidential

46

## Phoenix One Projectのロードマップ



2007年

2008年

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 ……

《予感》————→《実感》————→《体感》

市場への  
取り組み  
フェーズ

応急処置  
フェーズ

戦略的変革  
フェーズ

成長と新生  
フェーズ

社内  
制度等  
統合

人事制度統合

報酬制度統合

DTIオフィス移転

Confidential

Copyright 2007 FreeBit Co.,Ltd. All Rights Reserved.

47



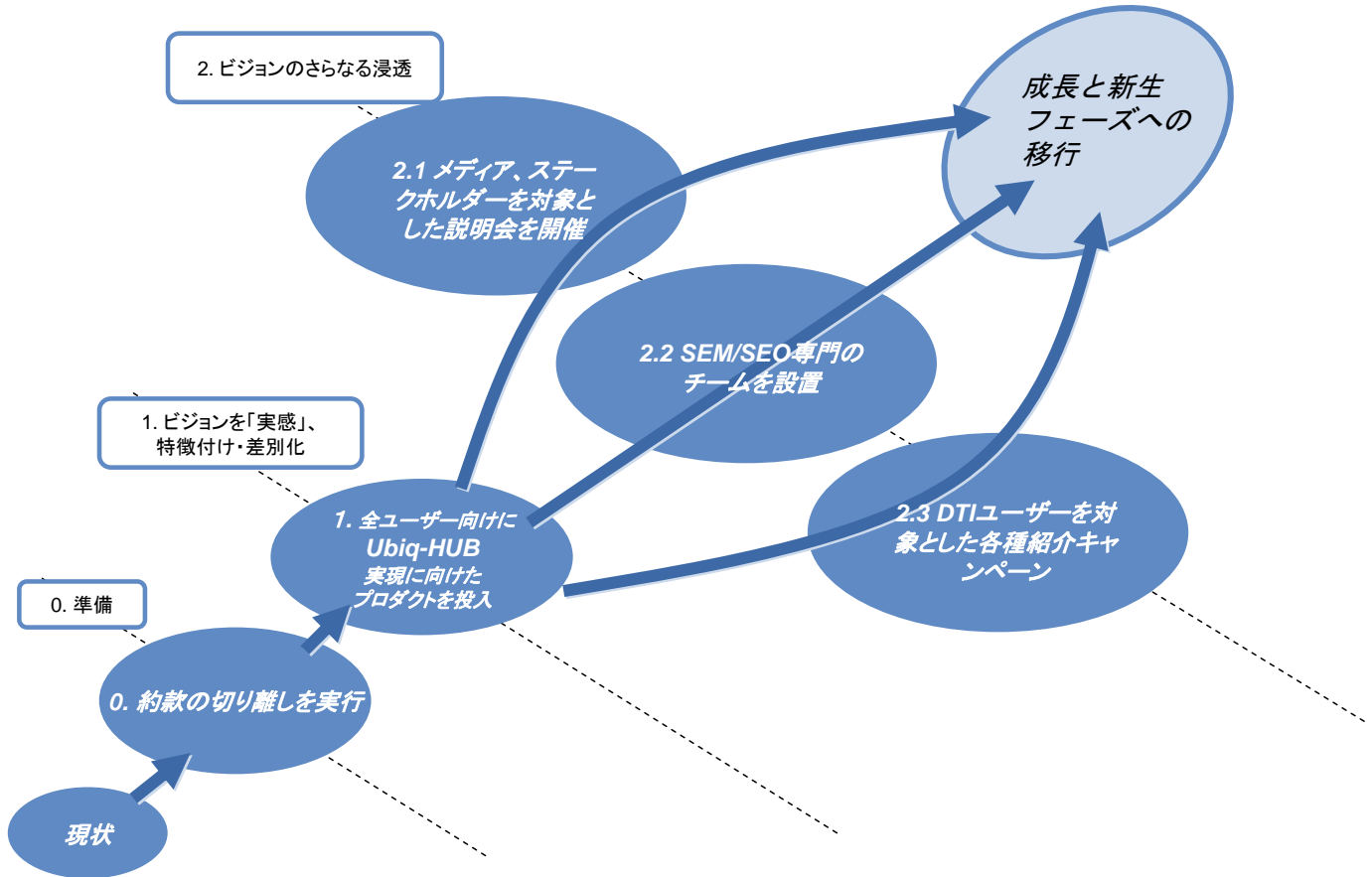
# STEP2.戦略的変革フェーズ[実感]

～比較的軽めの付加サービスの開始～

「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



# STEP2.戦略的変革フェーズ

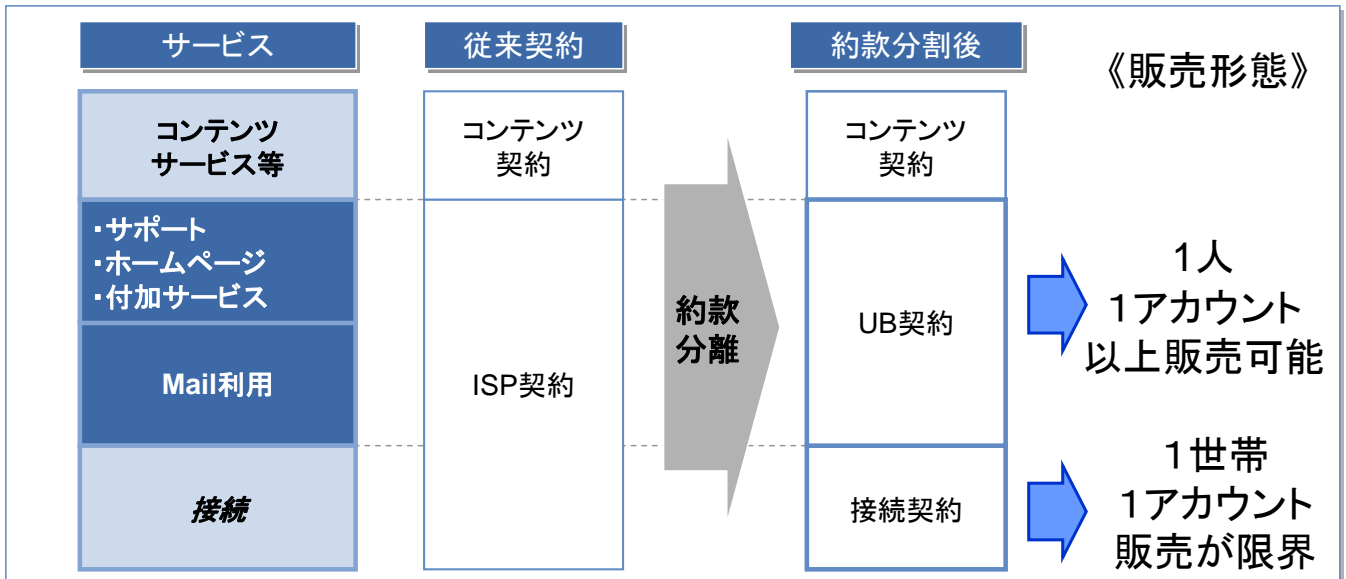
約款切り離しを実行

「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

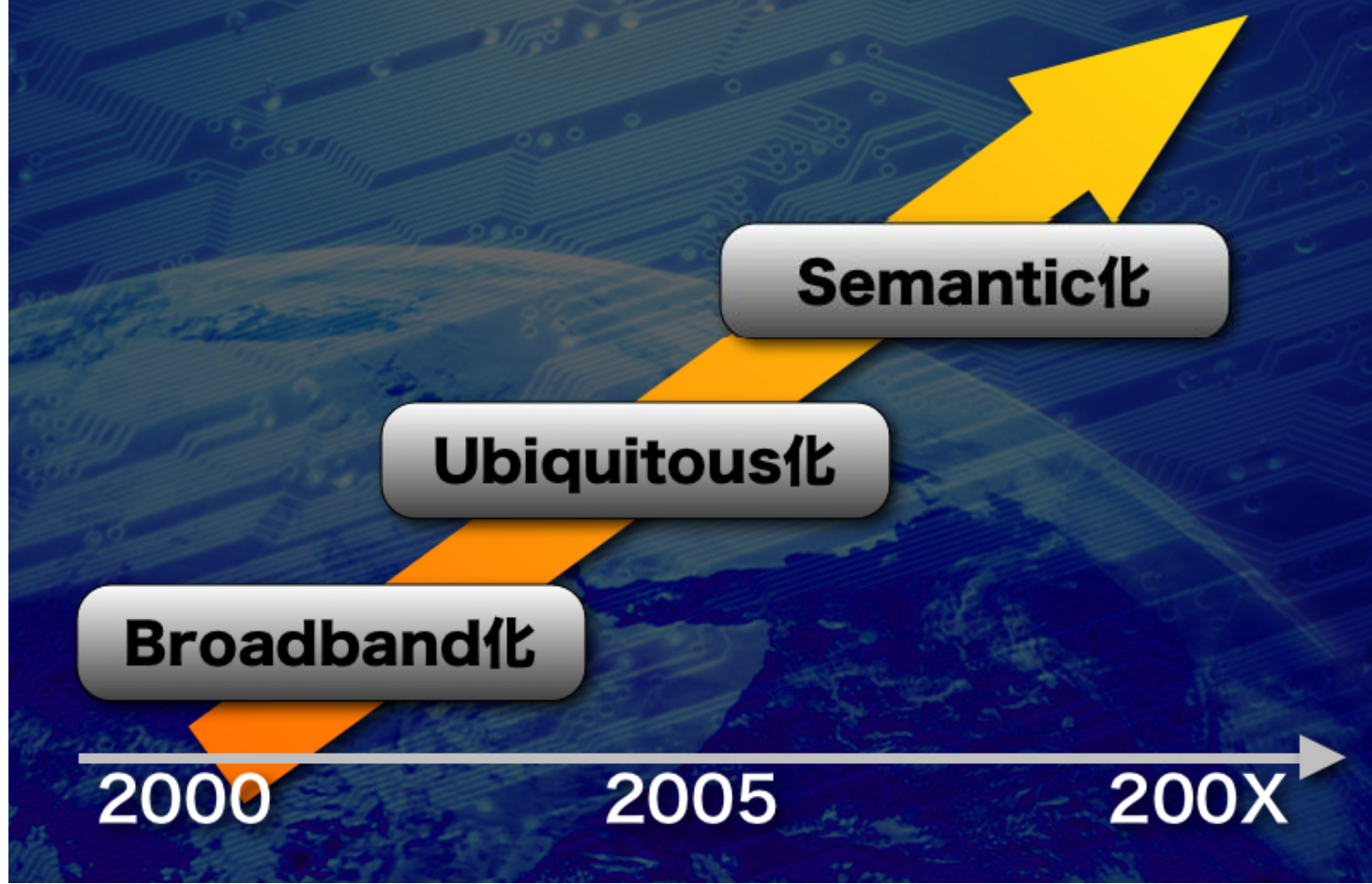
「成長と新生フェーズ」  
体感

約款の変更(分離)



1. 「接続サービス」と「ユビキタスサービス」を分離する。
2. 接続サービスは1世帯1アカウント販売が限界(ブロードバンド化により)  
→光化、無線サービスなどによるARPU増加策
3. 新メールサービスなどを含む「ユビキタスサービス」は、1人1アカウント以上販売可能

# インターネットの動き



## 新サービスの提供



1. ユビキタスなメールサービス [Semantiq Mail]  
(いつでもどこでも、あらゆる機器から、)

2. ホームセキュリティサービス  
(ブロードバンド回線の「第四の用途」の提案)

3. Emotion Linkを利用した、全く新しい  
個人向けサービス [Semantiq Node]

4. SIP (IP電話)を使った顧客満足度向上サービス

5. 新しい広告サービス

これらを統合した  
象徴的サービス

**Dream-HUB**

の開始！

上記詳細は、10月実施予定の  
戦略発表会にて発表します!!

2007年 2008年  
 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 ……



《予感》 → 《実感》 → 《体感》

市場への  
取り組み  
フェーズ

応急処置  
フェーズ

戦略的変革  
フェーズ

成長と新生  
フェーズ

社内  
制度等  
統合

人事制度統合

報酬制度統合

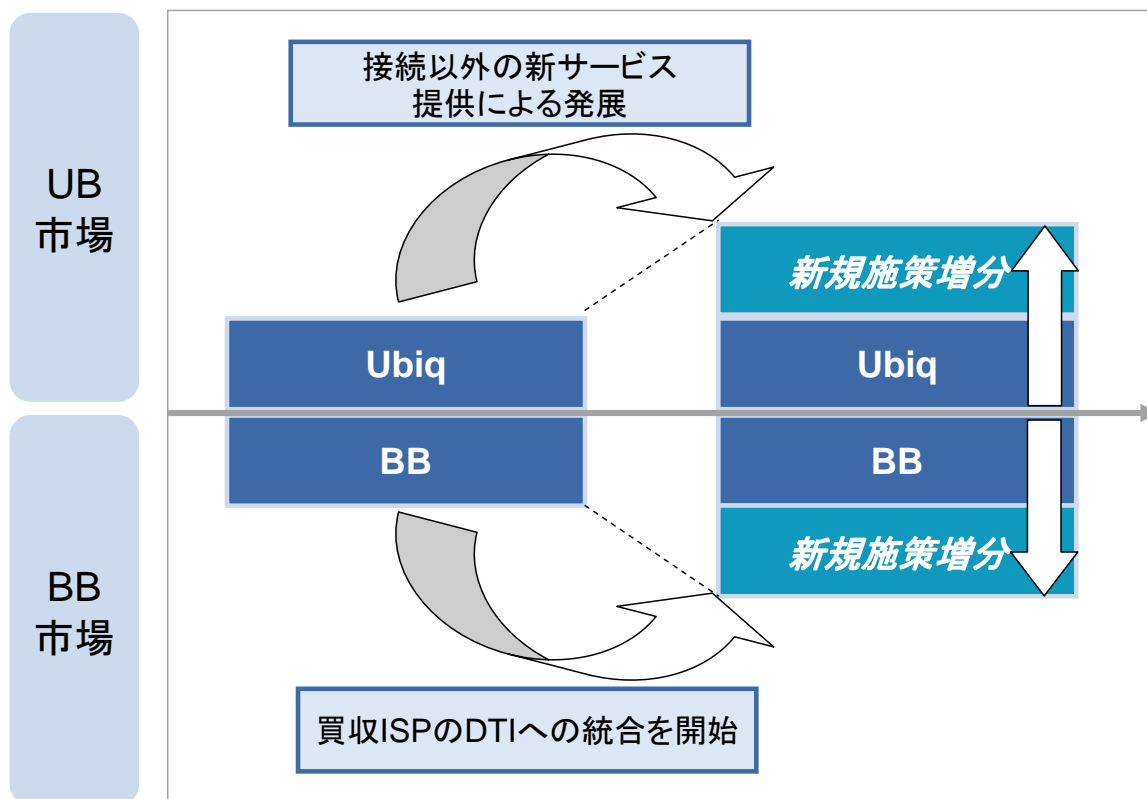
DTIオフィス移転

## STEP3.成長と新生フェーズ

「応急処置フェーズ」  
予感

「戦略的変革フェーズ」  
実感

「成長と新生フェーズ」  
体感



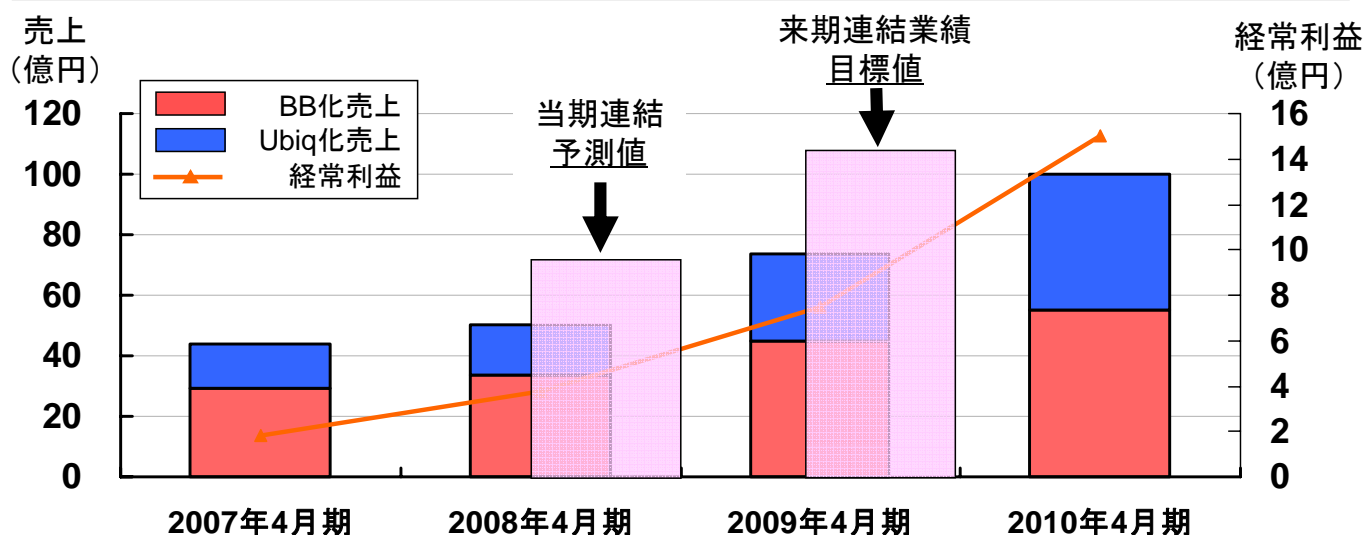
# その他、新しい ユビキタスプロダクト の投入

## 本日のアジェンダ

1. 2008年4月期第1四半期業績
2. 通期連結業績見通し
3. DTIに関して
4. その他

# 中期経営計画の修正に関して

## 2008年4月期～2010年4月期 業績目標



※上記グラフは2007年6月発表  
中期経営計画の業績目標

DTIの買収により、SiLK VISION 2010  
(中期経営計画業績目標)に関しては、  
約1年間前倒しで進捗中

↓

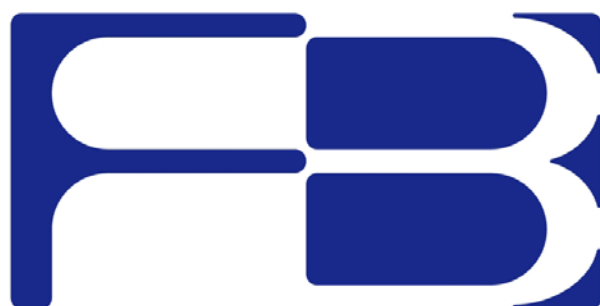
SiLK VISION 2010 Ver.2を策定中  
詳細が決定次第発表します!!

## 株式分割に関して

## 株式分割に関して

- 直近3ヶ月間の平均株価が100万円を超えている状況であるため投資単位の引き下げを実施。
- 投資家層を拡大し、さらに流動性を高めることを目指します。

**基準日** : 2007年10月31日  
**分割割合**: 1株につき**3株**の割合で分割



The Internet xEngine.

Made In .JP

日本発のIT基幹技術で世界を目指す